

鳥取県西部地震15年フォーラム

報告書



平成27年10月6日（火） 米子コンベンションセンター

鳥取県

はじめに

平成12年10月6日午後1時30分に鳥取県西部でマグニチュード7.3の鳥取県西部地震が発生し、日野町、境港市では震度6強を記録しました。幸いにも亡くなった人はありませんでしたが、重傷31人、軽傷110人、全壊家屋394棟、半壊家屋2,494棟と大きな被害を出し、斜面崩落・落石などにより道路の全面通行止め14箇所、鉄道の一部区間で半月以上の不通など多数の交通障害、約1万5千件のライフライン被害、港湾をはじめとした多数の公共土木施設被害などが発生し、県民生活に大きな打撃をもたらしました。

そこで、鳥取県においては、地震が発生した翌年の平成13年2月に「安全で活力ある地域づくり」をテーマとしてフォーラムを開催し、地震1年目には「西部地震を乗り越えて」をテーマに、2年目には「住み続けたいまちづくり」をテーマにして、復興後に人口減少が危惧された地域に住み続けるための方策について考えました。

復興が一段落した西部地震5年目には、「自助・共助の推進」をテーマに、鳥取県西部地震の教訓として自らの身を守る自助、ご近所同士で助け合う共助の重要性を再確認し、10年目には5年目のテーマを受けて、高齢化や人口減少のために自助・共助の維持が困難となる可能性がある中山間地域でどのように防災対策を進めていくべきかを考えました。

こうした中、平成23年3月には、観測史上最大の東日本大震災が発生するなど大規模な広域的な災害の発生が現実のものとなっています。併せて、人口減少社会到来による様々な社会的影響にも警鐘がならされています。このような状況を踏まえ、地域の防災力の向上を目的に「地域を共に守り創る」という「絆」意識を高め、「支え愛」によって元気で災害にも強い地域コミュニティの実現を目指し、本報告書のとおり「鳥取県西部地震15年フォーラム」を開催しました。また「鳥取県西部地震15年大学連携シンポジウム」をはじめとした多数の事業を「鳥取県西部地震15年事業」として県及び関係機関により実施しました。

同フォーラムの開催及び鳥取県西部地震15年事業の実施に御協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

この報告書は、鳥取県西部地震の体験・教訓を次世代に継承するとともに、人口減少社会においても元気で災害にも強い地域コミュニティの実現について考える一助としていただくため、同フォーラムの内容、鳥取県西部地震15年事業の実施概要を取りまとめたものです。

地域防災力の向上の参考として御活用いただければ幸いです。

平成28年3月 鳥取県

目 次

鳥取県西部地震 15 年フォーラム

プログラム	3
鳥取県西部地震とは	5
● 開 会 挨拶	9
鳥取県知事	平井 伸治
● 鳥取県西部地震 15 年を契機とした防災の取組みの紹介	13
○鳥取県西部地震の発生からこれまでの取組	
○防災教育…被災地の学校の実践、防災教育研修会の実施	
○鳥取県西部地震の余震域観測 – 地元住民との協働 –	
○鳥取県西部地震 15 年 大学連携シンポジウムの開催	
○東日本大震災被災地の復興支援	
● 基 調 講 演	17
『人口減少社会における元気で災害にも強い地域コミュニティの実現』	
ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 副理事長 室崎 益輝 氏	
【講演資料】	32
● パネルディスカッション	39
『人口減少社会において地域を共に守り創る』	
【コーディネーター】	
ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 副理事長 室崎 益輝 氏	
【パネリスト】	
宮城県知事	村井 嘉浩 氏
常葉大学教授	重川希志依 氏
日野ボランティア・ネットワーク	山下 弘彦 氏
智頭町社会福祉協議会主任	吉田 圭吾 氏
鳥取県知事	平井 伸治
【パネルディスカッション資料】	65
● 報 道 記 事	79

関連事業報告

- 鳥取県西部地震 15 年 大学連携シンポジウム
- 鳥取県西部地震 15 年とっとり防災フェスタ 2015 開催概要 … 89
- 鳥取県西部地震 15 年地震・津波防災強化期間の実施事業 … 95

鳥取県西部地震15年フォーラム プログラム

目的：鳥取県西部地震の教訓を見つめ直し、防災訓練や普及啓発を集中的に実施することによって、地震・津波をはじめとした災害に対する県民の意識向上と自助・共助による地域防災力の向上を図り、以て、どんな災害に対しても住民、事業者、行政が一体となった「地域を共に守り創る」という絆意識を高め、「支え愛」によって人口減少社会においても元気で災害に強い地域コミュニティを実現することを目指す。

日時：平成27年10月6日（火）13：00～16：30

場所：米子コンベンションセンター BiG SHiP 小ホール

主催：鳥取県

後援：（一社）地域安全学会、鳥取大学工学部附属地域安全工学センター、徳島大学環境防災研究センター、新潟大学危機管理室、関西学院大学災害復興制度研究所、宮城県、地殻ダイナミクス研究グループ、県内全市町村、鳥取県教育委員会、（特非）日本防災士会鳥取県支部、鳥取県技術士会、（公財）鳥取県消防協会、（一社）鳥取県建築士会、（一社）鳥取県測量設計業協会、（一社）鳥取県建設業協会

開会

13：00～13：05 [主催者あいさつ]

○鳥取県知事 平井 伸治

13：05～13：15 [鳥取県西部地震15年を契機とした防災の取組みの紹介]

- ①これまでのフォーラムの開催状況
- ②防災教育……被災地の学校の取組、防災教育研修会の実施
- ③鳥取県西部地震の余震域観測—地元住民との協働—
- ④鳥取県西部地震15年 大学連携シンポジウム
- ⑤東日本大震災被災地復興支援介

13：15～14：15 [基調講演]

「人口減少社会における元気で災害にも強い地域コミュニティの実現」

○ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長 室崎 益輝 氏

◆14：15～14：30 [休憩]◆

14：30～16：30 [パネルディスカッション]

テーマ：人口減少社会において地域を共に守り創る

[コーディネーター]

○ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長 室崎 益輝 氏

[パネリスト]

○宮城県知事 村井 嘉浩 氏

○常葉大学教授 重川 希志依 氏

○日野ボランティアネットワーク 山下 弘彦 氏

○智頭町社会福祉協議会主任 吉田 圭吾 氏

○鳥取県知事 平井 伸治

閉会

※手話通訳・要約筆記あり



講師・パネリストプロフィール

※敬称略

基調講演講師／コーディネーター

ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長 室崎 益輝

むろさき よしてる

1967年3月京都大学工学部建築学科卒業。神戸大学都市安全研究センター教授、独立行政法人消防研究所理事長、消防庁消防研究センター所長を経て、2012年から現職。

京都大学防災研究所客員教授、日本火災学会会長、日本災害復興学会会長、中央防災会議専門委員、鳥取県の消防の在り方検討会委員、鳥取県地震防災調査研究委員会委員、海外災害援助市民センター副代表、ひょうごボランティアプラザ所長などを歴任。

日本火災学会賞、日本建築学会賞、都市住宅学会賞、防災功労者内閣総理大臣表彰などを受賞。



パネリスト

宮城県知事 村井 嘉浩

むらい よしひろ

陸上自衛隊、宮城県議会議員（3期）などを経て、

2005年11月、宮城県知事就任。（現在3期目）

東日本大震災では、被災地の知事として災害対応、復旧復興対応に尽力。

- ・座右の銘 「天命に従って人事を尽くす」
- ・著書 「復興に命をかける」（PHP研究所）など



パネリスト

常葉大学教授 重川 希志依

しげかわ きしえ

財団法人都市防災研究所研究部長、富士常葉大学環境防災学部助教授、同教授などを経て、常葉大学社会環境学部社会環境学科教授/大学院環境防災研究科長（現職）

都市防災、地域防災、防災教育を専門分野として研究

中央防災会議委員、消防審議会委員、地震調査研究推進本部総合部会委員、東京都防災会議委員、静岡県防災会議委員などを歴任



パネリスト

日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦

やました ひろひこ

鹿児島市生まれ。筑波大学人間学類卒業後、出版社に勤務。2000年10月に鳥取県西部地震に遭遇。日野町で初めて災害ボランティア活動に取り組み、日野ボランティア・ネットワークに結成から関わる。

日野町では、子どもから高齢者まで地域住民のボランティア意識を高め、つなぐ地域交流活動などに取り組む。2006年から「鳥取県西部地震展示交流センター」を運営、防災・減災活動の啓発・取り組み支援を行い、大規模災害時には全国ネットワークをいかし被災地支援活動に取り組む。



パネリスト

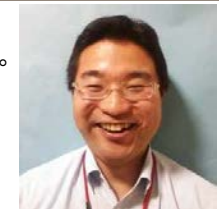
智頭町社会福祉協議会主任 吉田 圭吾

よした けいご

鳥取大学で学生ボランティアとして智頭町と関わり、卒業後、郷里の福井県で就職、その後、鳥取へIターンし、智頭町社会福祉協議会に入職。

福祉・防災の支え愛マップづくり等の推進にコーディネーターとして尽力し、地域の福祉や防災力の向上に取り組む。

「ネットワークづくりはフットワークで決まる」との考えの下、地域づくりに対する住民の理解を得て支え愛の取り組みを進めている。



パネリスト

鳥取県知事 平井 伸治

ひらい しんじ

1984年4月自治省入省 財政局地方債課、自治大学校研究部、選挙部管理課、選挙部政治資金課課長補佐、アメリカ合衆国連邦選挙委員会、カリフォルニア大学バークレー校政府制度研究所客員研究部、鳥取県総務部長、鳥取県副知事、総務省自治行政局選挙部政治資金課政党助成室長、自治体国際化協会ニューヨーク事務所長などを歴任。

2007年4月、鳥取県知事就任。（現在3期目）



鳥取県西部地震とは

～地震の概要～

- 1 地震発生時刻
2000年(平成12年)10月6日(金)13時30分 ※鳥取県内の天気は快晴
- 2 震源地
鳥取県西部 (北緯35度16.45分、東経133度20.94分)
- 3 震源の深さ
9km
- 4 地震の規模
マグニチュード7.3 ※兵庫県南部地震(1995.1.17)と同規模
- 5 最大震度
震度6強 (鳥取県境港市、日野町)

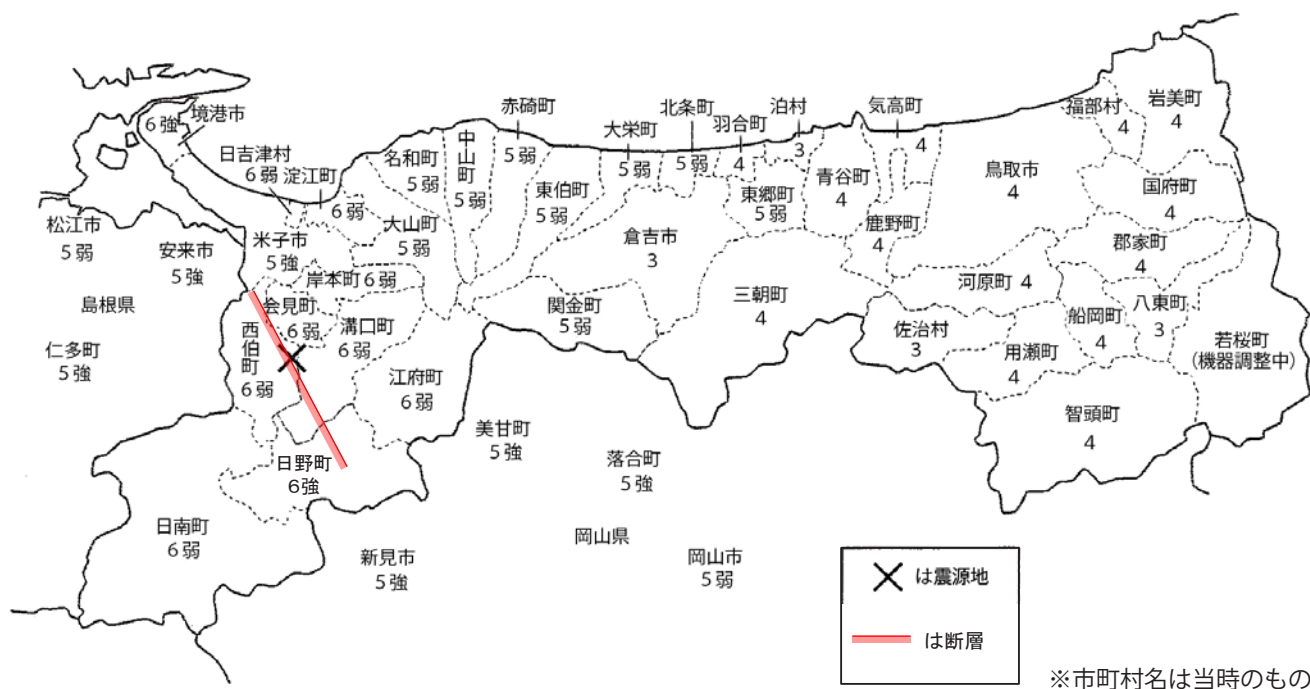


～地震被害の状況～

- 人的被害 **重傷31名** **軽傷110名**
- 家屋被害 **全壊394棟** **半壊2,494棟**
- 被害総額 **49,844百万円**
- ライフライン被害
道路 **581カ所** 河川 **57カ所** 港湾 **12カ所** など
- ライフライン被害
電気 **9,277戸** 停電 (10月6日午後3時22分復旧)
電話 **134回線** (10月7日14時20分復旧)
水道 **5,744世帯** 断水 **1,370世帯** 濁り水 (10月18日復旧)
道路 **全面通行止め14カ所** (平成15年12月5日復旧)
鉄道 **伯備線(生山～根雨)などが不通** (10月6日～11日、10月28日～11月17日)
空港 **米子空港の滑走路閉鎖** (10月6日午後1時51分～10月10日午後3時1分)



～震源地と県内の震度～



～全国各地の震度～

